

学校法人 東京聖徳学園

聖徳FLASH

第97号

平成30年8月1日

発行 学校法人 東京聖徳学園 〒108-0073 東京都港区三田3-4-28 TEL.03-5476-8811(代)



聖徳学園ホームページ

http://www.seitoku.jp/

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学教職大学院
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属女子高等学校
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学附属成田幼稚園
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳学園多摩中央幼稚園

聖徳FLASH

INDEX

▼ 学園	1	▼ 取手聖徳女子中高	3
▼ 大学院・大学短大	2	▼ 小学校	4
▼ 幼児教育専門学校	5	▼ 幼稚園	5
▼ 附属女子中高	5	▼ インフォメーション	6
			7
			8

アートパーク11

「まつどパラレルワールド」を開催



「アッパレザウルス」(児童学科大成ゼミ)



「作って遊ぼう おしゃれなパレード」(児童学科関口ゼミ)

七月一日(日)、松戸中央公園で「アートパーク11」(まつどパラレルワールド) (聖徳大学児童学研究所、聖徳大学生涯学習研究所主催)を開催しました。「アートパーク」では、大学と地域が連携し外遊びの重要性を訴え、公園の新たな活用法を提案してきました。十一回目となる今回は過去最高の約二千名の親子が集まり、学生とアートの遊びを一日楽しみました。

今回は十五のワークショップが公園各所で行われました。学内からは聖徳大学児童学部児童学科のゼミ(大成ゼミ、関口ゼミ、西園ゼミ、祓川ゼミ)や美術部、聖徳大学短期大学部保育科から二団体(北沢グループ、永井グループ)が参加。学外からは昨年に引き続き、千葉大学園芸学部木下研究室やPARADISE AIR、市内の中学校六校の美術部から生徒と顧問の教員が参加しました。地域団体(保育園きぼうのたから・つばさ、KEYAKIDS、まつど工房、じゅんぎょ、ハーモニー、まちづくり会議など)も多彩な企画を実施しました。段ボールで作った大きな恐竜の周りで絵具遊びをした「アッパレザウルス」(大成ゼミ)、手作り楽器でのパレード(関口ゼミ)、「花ごかりのこうえん」(北沢グループ)や「さきほのたから・つばさ」では紙皿で作った花が公園中にあふれ、児童学科児童文化コース一年生が授業で作った色



キッズ・ファッションショーを同時開催

当日は聖徳大学短期大学部総合文化学科が「まつど子ファッションデザインコンテスト」Kids Fashion Show 2018」を同時開催しました。

授業「地域貢献活動の実践」の一環で、同学科ファッションブランド二年生がイベントを企画、松戸市内在住の三歳〜六歳の未就学児を対象に「自分が着てみた

とりの「ようこそフラッグ」は公園入り口の小道に展示され好評でした。また、昨年の経験者である四年生と児童文化コース一、二年生が「おたすけ隊」となり、全体や地域団体のサポートを行いました。

とりどりの「ようこそフラッグ」は公園入り口の小道に展示され好評でした。また、昨年の経験者である四年生と児童文化コース一、二年生が「おたすけ隊」となり、全体や地域団体のサポートを行いました。

「看護フェスタ2018 by 聖徳大学看護学部」を開催

五月十三日(日)、聖徳大学看護学部は昨年に続き二回目となる「看護フェスタ2018 by 聖徳大学看護学部」(松戸市、松戸市教育委員会、松戸市商工会議所後援)を開催しました。F・ナイチンゲールが生誕した五月十二日「看護の日」を含む日曜日から土曜日までの一週間「看護週間」と制定され、「看護の心をみんなの心」をスローガンに、全国各地でさまざまな取り組みがされています。本学部でも、地域貢献の一環として昨年

度から「看護フェスタ」を開催し、地域住民と健康について一緒に考える機会としています。

当日は昨年を上回る約百五十名の方々が来場し、学生が風船で花道を作り歓迎しました。オープニングは水戸美津子学長補佐(看護教育担当)兼看護学部長の講演「どうしたら防げる認知症ー若いときからの対策が大事ー」で、認知症予防のため日常生活でできる具体的な対策についての講話でした。



盛況だった測定コーナー

講演の後は看護学部の学生や教員で健康相談や血圧測定などの健康チェックを実施しました。地域住民に、より健康な生活習慣を身につけていただくこと、血管年齢測定なども充実させました。「この結果を基に生活習慣に気を付け、来年の看護フェスタでの測定値を楽しみにしたい」という声もあり、測定コーナーは盛況でした。来場者は他にも「ちびっ子ユニフォーム試着体験コーナー」や「いつまでもお元



覚書を交わす川並弘純学長(左)とグエン・フー・クワン氏

教育者グエン・フー・クワン氏と聖徳大学が覚書を締結

ベトナム教育界の第一人者であるグエン・フー・クワン(Nguyen Phu Quang)氏と聖徳大学とが五月三十一日(木)、ベトナムの就学前教育の発展に関する覚書を締結しました。

クワン氏は、ベトナム教育界の教育者数名のみが受けられる「名誉勲章」を国から授与され、同国における教育の発展のため先進的な活動に取り組んでいる人物。昨年のハノイ大学との学術交流協定締結に続き、今回、保育需要が伸長するベトナムにおいて強い影響力を持つ同氏と保育・幼児教育の分野で高い実績を持つ聖徳大学とがパートナーシップを結ぶことにより、質の高い教育活動の展開に向けて大きく前進することが期待されます。

ようこそ先輩

聖徳大学において、幼稚園・保育所で保育を行う卒業生、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校で教職に就いている卒業生をそれぞれ招き、在学生も交えて交流する「ようこそ先輩」を開催しました。

平成三十年度 幼児教育経験者懇談会

五月十三日(日)に、幼稚園や保育所などで活躍している聖徳大学児童学部、聖徳大学短期大学部保育科の卒業生を招き、「平成三十年度 幼児教育経験者懇談会 ようこそ先輩」を開催しました。

川並弘純学長が卒業生に向けて歓迎と励ましの言葉述べ、開会となりました。卒業生同士の交流を行った午前には、社会人四六年度の卒業生十八名が参加しました。まず先輩の代表四名が登壇し、「分

第十一回 教職経験者懇談会

六月二日(土)、学校現場で活躍している聖徳大学の卒業生を迎え、教職を目指す本学学生と語り合う「ようこそ先輩 教職経験者懇談会」を開催しました。

三十名の卒業生に参加いただき、中には遠く新潟県から駆けつけた卒業生もいました。

開会にあたり、川並弘純学長が卒業生へ向けて「教職を実践していく中で戸惑うことがあれば、いつでも本学を頼ってほしい」と励ましの言葉を述べました。懇談会は二部構成で、第一部は先輩代表として三人の卒業生が実践報告を行いました。二人目の報告者の



実践報告をする戸谷恵教諭

戸谷恵教諭は児童学部を卒業し、現在、東京都葛飾区立上千葉小学校に勤務。一年に四学級を擁する学校の担任ならではの内容で、職員連携の大切さ、「チーム学校」としての取り組みを分かりやすく説明しました。第二部は、地区別情報交換会を行いました。卒業生と学生が、出身や採用を希望する地区ごとに集まり、学校や地区の雰囲気、採用選考に関する苦心談など、さまざまな情報を交換していました。

参加した学生からは「教職を目指したいという気持ちが強くなった」「選考直前の不安な気持ちが解消できた」と感想が寄せられました。



和やかな雰囲気のグループトーク

「将来の自分を描き就職活動をする」という意識が高まった「就職に向けて勉強や準備の方法、園選びのポイントが分かった」など多くの感想が寄せられました。

千葉県高校文芸大会を開催 文学部学生三名が研究発表

第六回千葉県高校生文芸大会が六月十六日(土)、聖徳大学一号館で開催されました。関東地区大会の千葉県予選を兼ねた大会で、県内の七つの高校から約七十名の生徒が参加。俳句作品で腕を競い合いました。

教室で行われた合評会の後、特別行事として、文学部二年生の奈良原由花さん(日本語・日本文学コース)、梅田翔子さん(英語・英文学コース)、倉田穂乃香さん(歴史文化コース)が香順メディアホールで「日本人は『ハムレット』をどう読んできたか」と題して研究発表をしました。



左から奈良原さん、梅田さん、倉田さん

から小田島雄志に至るまで、多くの英文学者たちがどのように訳してきたかをたどった上で自分たちの訳も披露し、生徒たちに作品をさまざまな角度から読む楽しさと文学の奥深さを伝えました。さらに太宰治が翻案した『新ハムレット』にも触れ、この名作戯曲に日本人がいかに深い影響を受けてきたかを浮き彫りにして、拍手を浴びていました。

「教員のための心理学講座Ⅲ」を開催 生徒のやる気を高めるには 六月十六日(土)、聖徳大学生涯学習社会貢献センターにて「教員のための心理学講座Ⅲ」生徒のやる気を高めること(同大心理教育相談所などが主催)を開催しました。

講師の矢口幸康同大大学院臨床心理学研究科准教授は、認知心理学の観点から、生徒のやる気を解消するためには「外発的動機づけ」が有効であること、②やる気を維持するために、「勉強が楽しい」と



矢口幸康准教授

受講者からは「生徒との関わり方を見直すヒントが得られた」「授業に取り入れていきたい」と感想が聞かれました。

社会福祉学科 ニュージールランド(NZ) 海外研修発表会を実施

六月三十日(土)に聖徳大学香順メディアホールにて、社会福祉学科三年生による「NZ海外研修発表会」を開催しました。三年生は、二月十三日から二十三日まで、福祉社会先進国のNZで十一日間の研修を行いました。



た。国連の持続可能な十七の開発目標(SDGs)から九つのテーマを選択し、事前研修から取り組み、実際に現地での課題に向き合いました。「質の高い教育をみんなに」というテーマでは、NZと日本の教育を比較し、日本の現状と今後の課題について考察しました。

「国連SDGs」二カ国間比較分析」の発表を行いました。各グループは五月、六月のオープンキャンパスでポスター発表を重ね、好評を博してきました。三十日当日の発表会の会場には、学生の家族の姿も見られ、「よく研究された良い発表だった」などの感想が寄せられました。九月からのオープンキャンパスや十一月に聖徳大学で開催する「第五十四回聖徳祭」でも発表を行う予定です(今後の開催予定は八面)。

※持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、「地球上の誰一人として取り残さない(no one will be left behind)」ことを誓い、福祉社会の重要項目が盛り込まれています。

『東京聖徳学園創立八十周年記念事業募金』 事業報告

ご支援ありがとうございました

平成二十五年の学園創立八十周年を機に開始した『東京聖徳学園創立八十周年記念事業募金』は、三十年三月をもって終了しました。

本学園は、創立者川並香順・孝子両先生が残された「最高の教育は最高の教育環境から」を合言葉に、子どもの発達段階に応じた教育機関を開設し、長い年月をかけて、建学の精神「和」に基づく「学び」を構築してきました。

その「学び」を継続・発展させるため、皆さまからのご厚志を一助として、事業に取り組むことができました。

本募金にご賛同・ご支援をいただきました皆さまに感謝申し上げますとともに、詳細についてご報告いたします。



募金概要

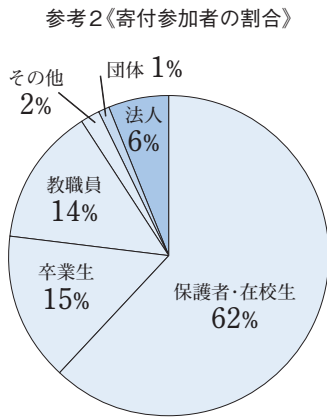
- **募金名称**
東京聖徳学園創立八十周年記念事業募金
- **募金目的**
施設・設備の充実
環境事業の推進
奨学基金の設置
- **募金目標額** 十億円
- **募集期間**
平成二十五年四月から
三十年三月まで(五年間)
- **募金対象**
保護者・卒業生・後援会・
お取引法人・教職員・一般

寄付実績(五年間合計)

- **寄付件数**
三、八七二件
- **寄付金額**
七八二、八〇〇、三九一円

参考1《寄付者別寄付状況》

寄付者区分	件数	金額
保護者・在校生	2,386件	39,069,863円
卒業生	594件	10,147,708円
教職員	558件	35,570,288円
その他	58件	6,327,099円
個人	3,596件	91,114,958円
団体	43件	536,560,433円
法人	233件	155,125,000円
合計	3,872件	782,800,391円



寄付者顕彰

感謝の気持ちを込めて、ご寄付いただいた方のご芳名の掲載や刻印の場を設け、末永く顕彰します。

●ご芳名の発表

ご芳名と寄付金額を学園広報誌(聖徳フラッシュ「募金だより」・ホームページ等に掲載しております。広報誌のバックナンバーは、左記のページよりご覧いただけます。
<https://www.seitoku.jp/about/flash/index.shtml>

●寄付者銘板への刻銘

松戸キャンパス一号館入口に寄付者芳名板を設置しました。募金実施期間である五年間寄付累計額にて、個人十万元以上、法人五十万円以上の方のご芳名を刻銘して末永く顕彰させていただきます。

《銘板設置実績》

- 個人 百七十一名
- 団体 十七団体
- 法人 二十五法人



芳名板写真

●香順メディアホールの椅子への刻銘

松戸キャンパス一号館三階「香順メディアホール」は、マルチメディア環境を備えた多目的ホールとして演奏会や講演会などで活用されています。その観客席の椅子に個人で五年間寄付累計額八十万元以上の方のご芳名を金のプレートに刻銘し設置しました。



香順メディアホール椅子刻銘
聖徳 太郎
平成00年0月

●主な寄付者特典

- ① 八十周年記念事業ロゴ入りしおり
平成二十五年(二十六年)に実施
寄付参加者全員へ贈呈
- ② 八十周年記念事業ロゴ入り
ピンバッジ



創立80周年記念ピンバッジ

～ 創立80周年記念事業の実施状況 ～



電子黒板機能対応プロジェクターの整備



カフェテラススペースの設置



相模台寮オープン(富士見寮お別れ会開催)

100周年を見据えた聖徳学園だからこそできる「学び」を目指して

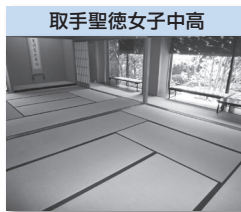
2018年(平成30年) 創立85周年

【その他、取組み事業例】

- ・PC教室、マルチメディア機器の整備
- ・Wi-Fi環境の充実
- ・照明器具のLED化
- ・電子黒板の導入
- ・防災備品の整備(各キャンパス万全の災害準備)
- ・図書整備
- ・キャンパスの緑化整備維持
- ・地下水ろ過システムの維持・管理
- ・中水システムの維持・管理
- ・記念講堂の整備維持(パイプオルガン・舞台・音響照明設備等)
- ・非常放送設備の更新・屋外スピーカーの設置
- ・松戸キャンパス7号館エレベーターリニューアル



一人一台の情報端末が利用可能な学習環境の整備



特別教室の整備(礼法室の畳替え)



「聖徳の子農園」地下水くみ上げ給水施設の設置



オーニング(日よけ)の設置

各幼稚園

- ・送迎バス運行状況システム「バスキャッチ」の導入

2013年(平成25年) 創立80周年



各学校の図書館整備

- ・教室の机、椅子の整備
- ・一般教室および研究室のカーテンを遮熱カーテンに入れ替え
- ・ピアノの整備・維持管理
- ・遊具等の整備
- ・トイレの温水洗浄便座への交換
- ・調理実習室給湯設備の整備
- ・学生個人ロッカーの整備
- ・ダイヤルロック式傘立の整備

今後の募金活動について

『東京聖徳学園創立八十周年記念事業募金』は終了しましたが、新しい募金事業を立ち上げました。引き続きのご支援をよろしくお願いたします。

新募金事業の概要

- **募金名称**
学園創立八十五周年・川並香順先生生誕百二十年記念 聖徳教育芸術振興募金

●募金目的

教育研究施設・設備等の充実
教育研究活動への支援
社会連携活動への支援
奨学金制度の充実

講演会 「千葉県教育長からのメッセージ」を開催

六月八日(金)、千葉県教育長の澤川和宏氏による講演会「千葉県教育長からのメッセージ」千葉県教育委員会の主催で、今回で三回目となる「と趣旨を述べました。



澤川和宏教育長

開会にあたり、川並弘純学長が「本講演は教員養成についての千葉県教育委員」と本学の連携協力に基づき、今回で三回目となる「と趣旨を述べました。

本題は三部構成で、第一部は千葉県の教育課題・施策として、第二期千葉県教育振興計画、いじめ・不登校対策などを説明。第二部は、学習指導要領の改訂の趣旨を踏まえ、教員の仕事への姿勢として、「他者との対話を恐れない」「人間性・豊かな感性を育む」などの心構えを語りました。第三

学外研修Ⅱ(北海道研修旅行)

六月十日(日)から二十三日(土)までの期間、聖徳大学短期大学部保育科第一、二、三年生と第二部三年生、総合文化学科二年生が、それぞれ七日間の「学外研修Ⅱ(北海道研修旅行)」を行いました。

初日の札幌での結団式では、川並弘純学長が学生に向け「北海道の雄大な自然・文化を学ぶとともに、集団生活を通して友人との信頼関係を深めてほしい」と話しました。



美幌峠

三日目の午前には、天都山山頂の「オホーツク流水館(網走市)」を訪れました。室温摂氏マイナス十五度の展示施設で本物の流水に触れ、クリオネ、フウセンウオなどオホーツク海に生息す

る生き物の飼育展示を見学しました。午後には、美幌峠(川上郡弟子屈町)から眼下に広がる屈斜路湖を見学。その後、「渡辺体験牧場(同町)」では牛のえさやりや乳絞りを体験しました。

五日目は襟裳岬「風の館」(幌泉郡えりも町)。「えりも風体験」で岬の強風を体験するなどしました。

六泊七日の行程で、学生たちは北海道の自然を体験することで視野が広がり、また、集団生活で他人に対する思いやりや社会生活の知識を学ぶことができました。

学内インターンシップマッチングフェアを開催

六月二十一日(木)に聖徳大学三年生、聖徳大学短期大学部一年生を対象として、同大一号館メディアラウンジにて「インターンシップマッチングフェア」を開催しました。



今年初めて行った取り組みで、同大の学生の受け入れに積極的なさまざまな業種の企業十四社がブースを設け、希望の学生が説明を聞き、その場でインターンシップの申し込みができるイベントです。

当日は百名を超える学生が参加し、学生に自社の魅力を説明する担当者との熱気もあり会場は大盛況でした。参加した全員が真剣な眼差しで企業の説明を聞いており、その結果インターンシップの受け入れがその場で決定した学生も多くいました。

参加した学生からは「学外のイベントより近い雰囲気の中で、説明を受けるのができる。説明する担当者の熱気もあり会場は大盛況でした。参加した全員が真剣な眼差しで企業の説明を聞いており、その結果インターンシップの受け入れがその場で決定した学生も多くいました。」



実習支援の現場から

「保育の聖徳®」伝統の実習指導

初夏の爽やかな五月、六月にわたり、日頃の学習の成果を実践するため、児童学部児童学科の学生三百五十名が三十一園の外部委託幼稚園で、短大保育科の学生二百六十名が百七十園の保育所でそれぞれ実習を行いました。

実習中は、本学の教員が各園を巡回訪問指導にあたります。一人ひとりの学生を指導し励ますことで、学生たちも自信を持って実習に臨んでいるようです。また、実習園からは、本学の学生は礼儀正しく積極的で実習生としての姿勢がしっかりしているとのうれしい評価を多くいただいています。

実習において、学生たちが一番苦戦するものの一つが、「実習録」です。本学で使用しているものは他大学に比べて記載事項が多く苦労するようです。しかし、卒業生からは「内容が充実しており、大変参考になるので今でも時々読み返している」などの声があがっており、こうした苦労も学生の成長のための大事な過程であることがうかがえます。また、本学の附属幼稚園での実習経験が外部幼稚園等での実習に生かされていると、声も上がっており、実習指導の成果が感じられます。

(実習支援課)

人間栄養学部 コラム

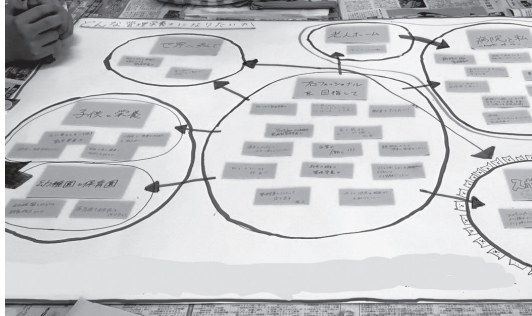
FC(Freshmen Camp)の成果 「箱根から見える明日」

人間栄養学部では、四月十四日(土)から十六日(月)まで箱根で新入生研修FC(Freshmen Camp)を行いました。



①では、自己紹介を通じてクラスのメンバーと意図的な将来像を見つけていく。②では、自己紹介を通じてクラスのメンバーと意図的な将来像を見つけていく。

共通点を見つけていく。②では、自己紹介を通じてクラスのメンバーと意図的な将来像を見つけていく。



重要性を挙げ、さらには理想の管理栄養士像にまで発想を膨らませたグループもあり、学生同士の直接の語り合いの効果を実感しました。この研修の前後で行ったアンケート調査の結果からは、学生たちが「カリキュラムの理解」「将来像の設定」「積極性・協調性」など全般的に向上できたことが見て取れました。これからの学生生活においても、このプログラムで理解したことを受けながら有意義に過ごしてほしいと切に願っています。

(人間栄養学部)

幼児教育専門学校

フォローアップセミナー



六月十七日(日)、「フォローアップセミナー」を開催しました。このセミナーは、

本校を卒業し、社会人になって一年目から五年目の卒業生を対象とし、現場での悩みや困っていることについて教員たちが相談に乗ったり、卒業生同士の交流のきっかけを作ったりすることで、働く卒業生たちを応援するものです。三十二名が参加し、中にはお子さまを連れて参加した卒業生もいました。

セミナーは二部構成で行い、第一部は講演「先輩へ聞く」として、講師には本校保育科第一部の卒業生で幼稚園勤務九年目、保育所勤務七年目の先輩二名を迎えました。苦勞したことや、それをどのように克服したかなど、質疑応答を交えながらお話しいただき、参加者たちは終始真剣

保護者会

に聞き入っていました。第二部は交流会を行い、職業別・学年別に分かれ、教員も交えて懇談しました。参加者たちは互いの話に耳を傾け、親睦を深めることができた様子でした。

本校では、学生の保護者に向けて、本校の教育について理解を深め、学生の二年間または三年間の学修をサポートしていただくために、授業や行事の見学を適時実施しています。この取り組みの一環として、六月二十三日(土)に保育科第一部一年生、保育科第二部一年生の保護者会を行いました。



は授業出席状況や必修であるピアノの進度などを報告しました。加えて、今年度の取り組みとして、本校卒業生の講師による講演を行いました。本校卒業後、幼稚園教諭、一般企業勤務を経て、現在は保育所や認定こども園の開設にマネージャーとして携わっている経歴を踏まえながら、「本校で得る学びや免許・資格は社会に出て必ず役立つ」教職員は学生を親身になってサポートしてくれるが、何

取手聖徳女子中学校・高等学校

第三十六回 体育祭



六月九日(土)、梅雨の合間をぬって、本校にて第三十六回体育祭を開催しました。今年度は、赤組・黄組・青組の三色対抗での戦いとなり、学年種目や綱引き・クラス対抗リレー・大玉送りなど、

白熱した競技が展開されました。例年盛り上がる競技に加え、今年度は各学年がダンスを披露しました。中学二年生によるフープを使ったダンス「Mamma Mia」は、目まぐるしく変化する隊形やフープの交換が見どころで、中学生らしい元気でか

わいらしい動きに、会場は大いに盛り上がっていました。高校二年生による三色の旗を使ったダンス「GO WEST」では、生徒たちのきびきびとした動作と色鮮やかな旗の一体感に、参観者や教職員から盛大な拍手が贈られました。

附属女子中学校・高等学校

第三十三回 合唱祭を実施

六月二日(土)、第三十三回合唱祭を本校第一体育室で行いました。すべてのクラスが自由曲を一曲合唱し、中学校と高等学校普通科はコンクール形式で行いました。

中学校部門では、二クラスに金賞が、三クラスに銀賞が、四クラスに銅賞が贈られました。また、金賞の中から「二十億光年の孤独」を歌った三年A組が最優秀賞に、「心の瞳」を歌った三年B組が優秀賞に選ばれました。



金賞が、七クラスに銀賞が、三クラスに銅賞が贈られました。また、金賞の中から「朝の祈り／憩い／陽気な娘たち」を無伴奏で歌った六年A組が最優秀賞に、「はじまり」を歌った五年B組が優秀賞に選ばれました。

高等学校普通科部門で最優秀賞に輝いた六年A組の渡邊葉月さんは「意見がすれ違ったり辛いこともあったが、クラスみんなで乗り越えることで団結することができた」と振り返りました。

小学生に向け「チャレンジ教室」を開催

本校では今年度より小学生を対象に、体験的な学びの機会を提供する「チャレンジ教室」(松戸市教育委員会後援)を行っています。

第四回の開催となった七月七日(土)には聖徳大学にて「看護師体験～あなたも看護師になってみよう!」(指導:聖徳大学看護学部)を行いました。参加した小学生の代表六名が「患者ロボット」を使用し、患者の肺音・心音・腹部の聴診と脈拍測定などを体験しました。

「からだに触れて聴いてみよう」脈拍測定、呼吸・心音聴取「ユニフォーム体験」など充実の内容で、保護者からは「これから子どもがいろいろな職業を考えると良いきっかけになったと思う」と好評でした。



附属小学校

三つのめあてで第三十三回望月郊外学習

「望月郊外学習」は本校が開校以来実施している、全学年を対象とした宿泊研修です。今年度は六月四日(月)から十日(日)まで、長野県佐久市のセミナーハウス「かすがの森」にて、各学年が四日間(二年生は三日間の研修を行いました)。

この学習のめあて(目標)は三つあり、第一は「集団生活のきまりを守り、お互いを思いやる心を持って生活することです。時間の厳守、整理整頓の徹底や互いに気遣い協力することを学びます。第二のめあては、豊かな自然や地域の歴史・文化などに触れ、学びを得ることです。児童たちはすがすがしい天気や満天の星空に感激したり、「縄なえ」や「開智学校」(四年生)や「開智学校」(六年生)など学年に応じたさまざまな

三日目の夜は、キャンプファイアを行い、各学年の出し物やフォークダンスなどで大いに盛り上がりました。最終日、閉校式では各学年の代表者が学習成果を堂々と発表し、三須吉隆校長は「あらゆる場面で皆さんの確かな成長が見られた」と研修を総括しました。



◆今後の開催予定◆

皆さまのご参加をお待ちしております。

※第8回以外は14:00開始

第6回 9月8日(土)
楽しく合唱③

第7回 10月13日(土)
Let's cook!
～ハロウィーンパーティー～

第8回 11月17日(土)
18:00～19:00
※雨天中止
スマホで月の写真を撮ろう

※第9回以降の予定は本校までお問合せください。

◆お申込み・お問合せ先◆
聖徳大学附属女子中学校・高等学校
(千葉県松戸市秋山600)
Tel. 0800-800-8442 (フリーアクセス)

幼稚園短信

聖徳大学附属幼稚園

聖徳子どもまつり

六月二十三日(土)、「聖徳子どもまつり」を開催しました。来園者は約千七百名。在園児はもちろん、未就園児や卒園生、地域の方も毎年楽しみにしている行事の一つです。



今年度は「つりぼり」や「お化け屋敷」など例年盛況のコーナーに加え、新



在園児それぞれのご家庭からいただいた「手作り品コーナー」や「お楽しみ献品コーナー」では、来園者は夢中で買い物をしていました。また、園内の随所に製作物や描画など日頃の保育の成果を展示し、園児自身が自命解説する姿も見られました。

企画として「お祭り縁日コーナー」を設けました。幹事の保護者と教員はハッピを着てお客さまを出迎えました。大きなパンチボール販売やひもくじ、指輪釣りなど趣向を凝らしたゲームコーナーに、子どもたちはお祭り気分を思っ存分味わった様子でした。

準備から当日の運営・後片付けに至るまで、幹事をはじめとした皆さまにご協力を賜り、大盛況のうちに子どもまつりを終えることができました。皆さまのお力添えとご厚情に心より御礼申し上げます。

誕生祝会

聖徳大学附属第二幼稚園

六月十九日(火)、全園児と教職員が本園遊戯室に集まり、当月の誕生祝会を行いました。担任の教員が六月生まれの子の名前を一人ひとり呼び、園児は大きな声で返事をして壇上へ。全員がそろうと、「誕生祝会の歌」(川並知子聖徳大学附属四園総園長監修、附属四園教員が作曲)を皆で歌いました。

その後、担任からプレゼントとして誕生日カードと園児にインタビューした「すきなたべもの」「すきなあそび」「おおきくなったら」などの項目が書かれており、また園児本人の手形が押しあてられています。受け取った園児は笑顔でカードを見つめていました。六月以外の誕生月の園児たちも誕生月を迎えた園児たちを祝うとともに「私の誕生祝会もう終

わったよ」「次は僕の誕生祝会だよ」と教え合うなどして盛り上がっていました。続いて五歳児松組がリズム遊び「スイミー」を披露しました。毎月の誕生会では教員が園児に劇や紙芝居、合奏などをプレゼントするのが恒例ですが、今回は園児の成長・発達や保育における効果を考え、特別に行いました。皆で踊りや台詞のやり取りを楽しむとともに、道具の移動まで立派にこなす年長児の姿に四歳児、



三歳児は「次は私たちが踊るね」と発言するなど刺激を受けた様子でした。



楽しかった June Concert

聖徳大学附属成田幼稚園

六月十一日(月)に第三回「SEITOKUオープンキングダムワールド」を開催しました。この催しは、主に地域の未就園児を対象としており、地域に開かれた園の取り組みの一環として企画・実施しているものです。今回のテーマは「June Concert」うたと楽器の世界」です。歌い手

は聖徳大学短期大学部保育科の春日保人講師が務め、伴奏を同学科の森下直人准教授が務めました。森下准教授のピアノの伴奏に、春日講師がオカリナの音色を交えながら動物や虫の出でくる曲などを歌いました。



「本物」の音楽に触れることができました。参加した保護者からは「先生の声やピアノ、オカリナの音色に心が癒された」とご感想をいただきました。

同窓会特集

同窓会連合会「聖徳学園菊水会」

第十六回評議員会開催

「聖徳学園菊水会」は、平成十五年、聖徳学園創立七十周年を機に組織された同窓会連合会で、幼稚園から大学院までの各同窓会、および卒業(園)生相互の連絡・親睦を図ることを目的としています。会員数は約十六万人です。

六月二日(土)、聖徳大学生涯学習社会貢献センターにて、聖徳学園菊水会第十六回評議員会を開催しました。

十三の各同窓会を代表して二十五名の評議員が出席しました。今年は学園創立八十五周年、創立者川並香順先生生誕百二十年、菊水会設立十五周年にあたり、川並知子名誉会長、川並弘純会長が卒業生への感謝や同窓会のさらなる発展について述べ、開式となりました。

平成二十九年度収支決算・事業報告に続き、平成三十年度収支予算・事業計



評議員会の様子

聖徳学園 三田幼稚園

同窓会

なごみ会

五月十九日(土)、三田幼稚園の卒園生が一堂に集まる同窓会「なごみ会」を開催しました。参加者は小学校一年生から六年生まで、総勢二〇七名が集まりました。特に、今年初めての参加となる一年生は、七十七名が参加しました。久しぶりに教員たちと会い、また友達同士が顔を合わせ、大変にぎやかで、和やかに話が弾んでいました。

川並順同窓会会長、川並妙子園長、旧松組幹事代表の内田絵梨氏からの開会の挨拶の後は、たくさんさんのゲームを参加者全員で楽しみました。今年は学園と本園創立八十五周年に当たり、全員で記念撮影し、出上がった写真を学園の連合同窓会である「菊水会」からの記念品と共に全員にプレゼントしました。



会終了後には、懐かしさもあつたか、多くの子どもたちが園庭の遊具で遊ぶ姿が見受けられました。

聖徳大学附属浦安幼稚園

おじいさま、おばあさまの会
いっつもでもお元気で

六月十九日(火)、「おじいさま、おばあさまの会」を本園遊戯室で行いました。この行事は、核家族の家庭が多い本園の園児たちが敬老の日を知り、お年寄りへのいたわりや感謝の気持ちを保持つとともに、園児の祖父母に保育の様子を見ていただくことを目的に、毎年実施しています。

当日は約二百四十名の祖父母・曾祖父母が来園しました。受付では、五歳児松組の園児が案内役として、祖父母一人ひとりに「ホールにご案内します」と声を掛けました。



全園児で園歌を歌い、続いて各学年が舞台上で発表。絵本のストーリーなどをそれぞれの発達に応じた踊りやリズムで表現しました。満三歳児パンダ組による「パング組の一日」では、一日の保育の流れを歌と手遊びで

表現。三歳児松組は絵本「ねずみくんのチョコッキ」を踊りとせりふで演じました。四歳児梅組「せんたくかあちゃん」ではスキップや隊形移動を交えて表現。五歳児松組「いろいろへんないろのはじまり」ではさらに組み体操や側転など交えるとともに、ペットボトルに入った色水を混ぜ合わせさまざまな色を作り出す手品のような演出を行いました。園児たちの熱演に会場は温かい拍手で包まれました。

祖父母・曾祖父母は園児たちに笑顔で「上手だったよ」「ありがとう」と声を掛けながら花道を通って退場し、会は和やかに終了しました。

大きくなあれ
ひまわりの種

聖徳学園三田幼稚園

五月二十九日(火)、毎年本園の運動会で使用している芝公園内の一角に種まきに行きました。この行事は港区



の担当者から「年長組さんで花の種をまきませんか?」と提案をいただき実現したものです。園児たちは五月月上旬にアサガオの種をまいており、「もう種のまき方は知っているから任せて」と張り切っていました。今回まいたのはヒマワリの種でした。図鑑などで下調べしていた園児たちはヒマワリの種がすべて白と黒のしま模様だと思っていたように見せていただいた種は濃いピンクと黒のしま模様でした。園児たちは「わあ、きれいな色だね!」「ヒマワリの花は黄色だけど、この種はピンク色の花が咲くのかな?」などと成長を楽しみにし

ていました。種まきが終わると、公園内を散策しました。園児たちは、間近で見ると東京タワーの迫力に驚いたり、身長十五センチメートルほどのカエルを見つけ、滅多に見かけない大きさに大喜びしたり、思い思いに楽しんでいました。

敬老の日の集い

聖徳学園多摩中央幼稚園

七月十二日(木)に「敬老の日の集い」を行いました。まず、三歳児梅組と五歳児松組が園歌「アイアイ」を歌い、松組は「鐘を上げて」の演奏も行いました。続いてクラスごとに遊戯を発表し、この日のために一所懸命練習してきた成果を存分に披露しました。

発表後は、クラスごとに分かれていました。種まきが終わると、公園内を散策しました。園児たちは、間近で見ると東京タワーの迫力に驚いたり、身長十五センチメートルほどのカエルを見つけ、滅多に見かけない大きさに大喜びしたり、思い思いに楽しんでいました。

聖徳学園八王子中央幼稚園

引き取り訓練

六月一日(金)、本園で年六回実施している防災訓練の一環として、「引き取り訓練」を実施しました。この訓練は、災害時に自分の身を守るための対応について理解を深めるとともに、保護者が子どもを引き取る手順について確認することを目的としています。

まず、地震が発生したという想定で園児たちが二階保育室に避難を行いました。非常用サイレンが鳴ると園児たちは教員の指示に従い防災帽子で頭を守って待機し、避難指示の放送を静かに聞きました。続いて速やかに避難を開始し、「おかしもちほ」の約束(「おさない、かかない、ししゃべらない、ちかづかない、はげけつとに手を入れない)を守って二



階保育室に避難しました。また、保護者には防災への認識をより深めるための参考として、「災害時広域避難場所図」と「地図の進捗段階解説表」を配付しました。その後引き取り訓練へと移り、引き取り者名園児名をはっきりと告げ引き取ることを保護者と共に確認しました。最後に保護者の中から希望者が、消防署職員からAEDの扱い方について指導を受けました。

聖徳学園
八王子中央幼稚園

同窓会

和香葉会

六月十六日(土)に同窓会「わかば会」を開催しました。小学校一年生から六年生までの卒業生八十九名が集まり、友達を見つけ大喜びで駆け寄り笑顔で話す姿がこちらで見られました。

始めに、聖徳学園創立八十五年を記念して全員で集合写真を撮りました。

会が始まると、幼稚園の頃に親しんだ歌を歌ったり、〇×ゲームやジャンケン列車をしたりして楽しみました。幼稚園の頃のように楽しく遊び、ホール内は笑い声でいっぱいになりました。〇×ゲームでは、幼稚園にまつわる問題に真剣に答えを考えたり、正解してはしゃいだりして大変盛り上がりました。おやつの中には、友達や教員と幼稚園での思い出を話していました。

出や小学校での活躍について話に花を咲かせました。会の終わりに、始めに撮影した集合写真と記念品と共に参加者全員に差し上げました。また、一年生には卒業アルバムを渡しました。卒業生たちが幼稚園生活の思い出を描いた絵が表紙になっており、一年生たちはとてもうれしそうに話していました。



姿が見られました。おやつ

聖徳学園
多摩中央幼稚園

同窓会

和香竹会

六月三十日(土)に同窓会「和香竹会」を行いました。当日は、百六十三名の卒業生が集まり、「久しぶり」と声を掛け合う姿が見られ、子どもたちは再会を喜んでいました。

玄関には卒業制作のモザイク画がたくさん飾ってあり、子どもたちは、「新しいものが増えた」と「後輩」の作品を楽しんだり、「僕たちが作ったものはどこかな」と思い出の作品を探すなどしていました。

橋本素子同窓会会長、川並妙子園長による歓迎の言葉の後、園歌斉唱。久しぶりの園歌に「どんな歌だったか?」

と話す子どももいましたが、ピアノの伴奏を聞くと「あ、懐かしい!」と言いなから元気良く歌いました。〇×ゲームやカードゲーム、友達に声をかけて人数を集めるナンバークールなどをして遊びました。ナンバークールでは、高学年が「こっちはあと二人足りないよ」「こっちは来て」と声を掛け、低学年をリードする



姿が見られました。おやつ

聖徳大学通信教育部 共学

平成32年3月までの期間限定！ 特例制度学習の出願受付中！

幼稚園教諭免許を持っていて → 保育士資格を持っていない方
保育士資格を持っていて → 幼稚園教諭免許を持っていない方

3年以上の実務経験のある方は 8単位の学習で取得できます！

平成29年度 秋学期生受付期間 受講期間
7月2日(月)～10月31日(水) 登録は10月1日～翌年9月30日の1年間
最短半年程度での単位修得も可能です！

必要な単位と費用 幼稚園教諭、保育士資格どちらも、8単位分の学習をします。費用は78,000円
(スクーリング費用・教材費等含む)。1科目からの申し込みも可能！特例科目に
該当する既修得単位がある方、忙しいので今年は一科目だけ申込みたい方なども安心。

Table with columns: 取得希望, 基礎資格, 実務経験, 学習する内容

特例学習: 卒業生割引あります 聖徳大学・短大(通学・通信)、および聖徳大学幼児教育専門
学校卒業生は入学金・登録料10,000円を割引します。
入学願書の学歴欄に本学卒業生である旨をご記入ください。卒業生の皆さまのご出願、お待ちしております！

特例制度学習の詳細・お問い合わせ・資料請求は、こちらから。
TEL.047-365-1200 http://www.seitoku.jp/tk/

学校説明会関係行事のご案内

※詳細につきましては、各校・園にお問い合わせください。

聖徳大学(女子)・聖徳大学短期大学部(女子) お問い合わせ: 0120-66-5531(直通)

オープンキャンパス ▶8月11日[土・祝] ▶8月25日[土] ▶8月26日[日] ▶9月23日[日] ▶10月21日[日]
看護学部 オープンキャンパス ▶8月26日[日] ▶11月25日[日]

通信教育部(大学院・大学・短期大学部 共学) お問い合わせ: 047-365-1200(直通)

入学説明会(松戸キャンパス) ▶8月19日[日] 13:00～15:30 ▶9月23日[日] 13:00～15:30

入学説明会【学外】 盛岡 ▶9月2日[日] 11:00～14:30 マリオス(盛岡地域交流センター)
千葉 ▶8月4日[土] 11:00～15:00 ペリエ千葉7階ペリエホールC室
東京 ▶9月9日[日] 11:00～15:00 東京国際フォーラム
横浜 ▶9月15日[土] 11:00～15:00 横浜APビル4階B会議室
水戸 ▶8月5日[日] 11:00～15:00 水戸駅エクセルホールひたち
大宮 ▶9月30日[日] 11:00～15:00 大宮ソニックシティ7階707室
大宮 ▶9月2日[日] 11:00～15:00 大宮ソニックシティ6階601室

聖徳大学幼児教育専門学校(女子) お問い合わせ: 03-5476-8811(代)

オープンキャンパス 第8回▶8月4日[土]10:00～ 第9回▶8月18日[土]10:00～ ナイトオープンキャンパス
第10回▶8月25日[土]10:00～ 第11回▶9月2日[日]10:00～ 第2回▶9月20日[木]18:30～

聖徳大学附属女子中学校・高等学校 お問い合わせ: 0800-800-8442(入試広報室直通)

オープンスクール ▶8月25日[土]9:30～ 中学校説明会 ▶9月23日[日]10:00～ 高等学校説明会 ▶9月23日[日]11:00～

個別相談会 ▶9月23日[日]9:30～ ▶10月7日[日]9:30～ 音楽科講習会 ▶9月29日[土]9:00～ ▶9月30日[日]9:00～

聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校 お問い合わせ: 0297-83-8111(代)

オープンスクール ▶8月4日[土]9:30～ ▶8月19日[日]9:30～ 音楽講習会 ▶8月26日[日]9:30～

小学生対象入試説明会 ▶9月22日[土]13:30～ 入試説明会 ▶10月8日[月・祝]13:30～ 音楽科・音楽コース説明会 ▶9月29日[土]13:30～

※時間については決まり次第本校Webページでご案内します。(本校Webページ) https://www.seitoku.jp/toride/

聖徳大学附属小学校(共学) https://www.seitoku.jp/shogaku/ お問い合わせ: 047-392-3111(代)

わくわくオープンスクール&入試説明 Web予約受付中
Web予約受付中 ▶8月19日[日]9:00～ ▶9月2日[日]10:00～ ▶9月16日[日]10:00～

聖徳大学附属幼稚園 お問い合わせ: 047-368-6135(代)

見学会 運動会 説明会 ▶9月12日[水] ▶10月13日[土] ▶10月2日[火]

聖徳大学附属第二幼稚園 お問い合わせ: 047-341-6598(代)

見学会 運動会 説明会 ▶9月11日[火] ▶10月6日[土] ▶10月12日[金]

聖徳大学附属成田幼稚園 お問い合わせ: 0476-26-3371(代)

見学会 運動会 説明会 ▶9月7日[金] ▶9月30日[日] ▶10月10日[水]

聖徳大学附属浦安幼稚園 お問い合わせ: 047-721-8181(代)

見学会 運動会 説明会 ▶9月10日[日] ▶9月22日[土] ▶10月3日[水]

聖徳学園三田幼稚園 お問い合わせ: 03-5476-8819(代)

運動会 説明会 ▶9月29日[土] ▶9月7日/10月5日[金]

聖徳学園八王子中央幼稚園 お問い合わせ: 042-664-0972(代)

運動会 説明会 ▶10月6日[土] ▶9月14日[金]

聖徳学園多摩中央幼稚園 お問い合わせ: 042-676-0777(代)

運動会 説明会 ▶9月22日[土] ▶9月15日[土]

読者の声

ご意見・ご感想の宛て先

学園広報紙聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。
今後も内容の充実に向けてまいりますので、ぜひ皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。
(郵送) 〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 東京聖徳学園「聖徳フラッシュ」係まで
(インターネット) https://www.seitoku.ac.jp/gakuen/toiwase/frmpub

学園祭 開催案内

聖徳大学・聖徳大学短期大学部
第54回 聖徳祭 11/17(土)・18(日) 10:00～15:30
ハッピーホームカミング 11/17(土) 14:00～15:30 (予定)
幼児教育専門学校
文化祭 11/3(土・祝) 10:00～14:30
附属女子中高
第36回 聖徳祭 9/23(日) 9:00～14:00
取手聖徳女子中高
第36回 聖徳祭 10/8(月・祝) 9:00～15:00
附属小学校
第33回 聖徳祭 10/21(日) 8:45～15:00

各校、各園でも学園祭が開催されます。各校(園)の特色を生かした楽しい催しものを計画しています。ぜひお出かけください。

附属幼稚園・附属第二幼稚園・附属成田幼稚園・附属浦安幼稚園
大学・短大部 第54回 聖徳祭 ステージ発表(川並香順記念講堂) 11/17(土) 10:00～12:30
三田幼稚園 聖徳にこにこまつり 11/3(土・祝) 10:00～14:30
八王子中央幼稚園 聖徳にこにこまつり 10/28(日) 10:00～14:00
多摩中央幼稚園 聖徳にこにこまつり 10/21(日) 10:00～14:00

平成30年度 大学・短期大学部/後援会・保護者会 開催日程

Table with columns: 開催日, 時間, 支部名, 保護者会, 会場

大学院・大学・短期大学部 同窓会 平成30年度「香和会」支部パーティー 開催日程

Table with columns: 支部名, 日程, 時間, 場所

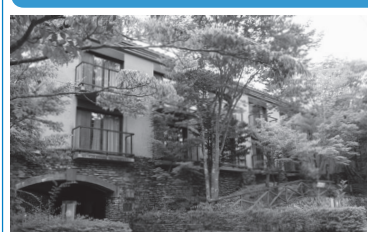
※注:上記内容は予定であり、一部変更する場合があります。各支部パーティーの場所等詳細につきましては、準備が整い次第、郵送にてご案内します。

【お問い合わせ】 香和会事務局 Tel.047-366-5084(直通)

森と湖のヒーリングリゾート 山中湖ガーデンヴィラ

山梨県南都留郡山中湖村平野506 TEL.0555-62-3111

期間限定オープン ～9月末日のご宿泊まで



山中湖は真夏も過ぎやすい日々が続きます。湖畔でのアクティビティーに加え、サマーイベントも盛り沢山。富士山登山にも最適です。避暑地の休日をぜひ山中湖ガーデンヴィラでお過ごしください。

学園料金 1泊2食 大人6,750円～ (10名以上グループプランは6,250円～)

詳細はホームページでご確認ください。

山中湖ガーデンヴィラ 検索

http://www.yamanakako-garden.com

インターネット宿泊予約受付中

山中湖花火大会報湖祭

●実施日:平成30年8月1日(水) ※荒天時は8月2日に順延



富士五湖花火大会の口火を切る、山中湖「報湖祭」。大正時代に、東京帝国大学(現・東京大学)の学生たちが、湖畔の寮に来て、湖上で花火を打ち上げたことに端を発し、後、文豪・徳富蘇峰により「報湖祭」と命名された、歴史ある花火大会。湖畔4ヶ所から打ちあがる花火が、夜空を彩ります。

セイトクの派遣会社だから安心

派遣登録募集中!! 幼稚園教諭、保育士、一般事務 お気軽にご連絡ください

セイワコーポレーション 東京都港区虎ノ門1-1-20

0120-525-126 般 13-300726 13-ユ-300913

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ 第97号 発行人/川並弘純 編集/総務課

〒108-0073 東京都港区三田3-4-28 TEL.03-5476-8811(代)

PRINTED WITH SOY INK この印刷物は大豆油を主成分とした環境にやさしいインクを使用しています。 18.8.1 re (16.95)